

タワーとしては世界一の高さの東京スカイツリー（東京都墨田区、高さ634m）の近くに、栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」がオープンしました。きょう22日でオープンからちょうど1か月がたちます。

スカイツリーの足元

県のアンテナショップは、県内の商品を販売したり、イベントを紹介したりして、地域の魅力をPRするお店です。東京の銀座や有楽町には、北海道や多くの県のアンテナショップがあります。栃木県は新たな東京の観光地・スカイツリーに注目し、その足元にオープンした商業施設「東京ソラマチ」に

とちまる
ニョースナビ

調好 売上げ 1か月、開店

とちまるショップ



オープンから1か月がたつ「とちまるショップ」

店を出しました。東京ソラマチには、県のアンテナショップはほかにありません。

県と市町が一緒に

「とちまる」は、「栃木の魅力をまるごと伝え、栃木をまるごと楽しんでもらう」という意味がこめられています。県のマスコットキャラクター

ター「とちまるくん」の名前でもあります。オープンにかかった約1億6500万円は県が出し、1年に約2600万円かかるお金も県と市・町が分けあって払っています。宇都宮市の「ろまんちっく村」を運営する会社が店のやりくりをまかされています。

栃木の良さをPR

お店は「東京ソラマチ」の4階で、かんさしや手ぬぐいなど日本らしさにこだわったお店がならぶ場所にありま。壁に薄い茶色をした益子焼のタイルを、照明に烏山和紙を使って、栃木の良さをPRしています。約160平方メートルの広い店の中には、県内の人がイベントを開いたり、商品を紹介したりするスペースがあります。

お店には、宇都宮のギョーザや小山の結城紬など100以上の物がそろっています。店内ですぐに食べられるとちまとめを使ったジェラートや「関東・栃木レモン」（レモン牛乳）がよく売れています。1日平均1万人近くが訪れ、売上げも好調ということです。

とちまるショップでたくさんの人に栃木県の良さを知ってもらい、栃木を訪れる人が増えるといいですね。